

2019年7月5日
株式会社自律制御システム研究所



リバネスおよびリバネスシンガポールと連携し、東南アジアへの事業展開を本格化

株式会社自律制御システム研究所（代表：太田 裕朗、本社：千葉県千葉市、以下「ACSL」）は、株式会社リバネス（代表：丸幸弘、本社：東京都新宿区、以下「リバネス」）とLeave a Nest Singapore Pte. Ltd.（代表：徳江紀穂子、本社：シンガポール、以下「リバネスシンガポール」）と連携し、シンガポールを主軸とした東南アジアへの事業展開を本格化することが決定いたしましたので、ご報告いたします。

ACSLは、これまで2019年4月にシンガポールで開催されたUnmanned Systems Asia 2019への出展や、エンドユーザーへの概念検証（Proof-of-Concept）プロジェクトを実施するなど、東南アジア諸国における顧客ニーズの把握、コア技術競争力の調査、規制関連の調査などを進めてまいりました。特に、ACSLが強みとする画像処理を用いた非GPS環境下での自律飛行技術（Visual SLAM）に対するニーズはインフラ点検や倉庫管理分野で顕著であり、東南アジアへの事業展開を本格化することにいたしました。

今後成長性の高い東南アジアへの進出を果たすためには、現地支社の設立や活動拠点の確保、現地事業会社・政府との連携、人材採用といった種々のハードルを乗り越える必要があります。これらには現地におけるノウハウやネットワークが必要であり、この度、リバネスとリバネスシンガポールを現地パートナーとして、活動拠点確保や営業活動、人材採用などの多方面において連携することとなりました。

リバネスとリバネスシンガポールでは、世界の課題解決に挑戦する人々が集まるインキュベーションスペースL-HUB【L-nest Innovation HUB；通称 L-HUB（エルハブ）】SGをオフィススペースとして提供し、日本と現地スタートアップの技術連携を促すとともに、これまでに培ってきたインキュベーションのノウハウや事業会社・政府機関・大学とのネットワーク等を駆使して、日本のスタートアップの東南アジア進出を後押ししております。

ACSLは、日本国内のみならず、東南アジア諸国に対するドローン・ソリューションの社会実装に向けて、引き続き取り組んで参ります。

<問合せ先>

株式会社自律制御システム研究所（ACSL）担当：塚田 sales@acsl.co.jp

株式会社リバネス 国際開発事業部 担当：秋永 gpd@lnest.jp